

## 平成31年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	塩崎智一
		全体計画						経費区分		-		内線	3414
事務事業名	4164 産地ブランド推進事業												
所 属	150100 産業振興部・農林課												
施 策	05012100 農業の活性化												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費											
	事業	060000 産地ブランド推進事業											
事業目的						事業概要・効果							
須坂産農産物のブランドイメージの向上、新たな農産物のブランド化が求められているほか、グリーンツーリズムなど新たな農業の展開を想定した取組みが必要。						振興果樹の生産拡大による産地ブランドの構築、体験型農業をはじめとしたグリーンツーリズム・地産地消等の推進もって、ブランド化がすすむ。							

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
新農業創生活動事業補助 1団体 100千円 新品種導入事業補助 1200千円 農業体験プログラム参加者 90人	新農業創生活動事業補助 2団体 113千円 新品種導入事業補助 1200千円 農業体験プログラム参加者 106人
平成29年度 実績	平成30年度 実績
新農業創生活動事業補助 3団体 300千円 振興品種振興事業補助 1500千円 農業体験プログラム参加者 68人	新農業創生活動事業補助 3団体 300千円 振興品種振興事業補助 1500千円 農業体験プログラム参加者 33人
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
新農業創生活動事業補助 4団体 400千円 振興品種振興事業補助 1500千円 農業体験プログラム参加者 100人	新農業創生活動事業補助 4団体 400千円 振興品種振興事業補助 1500千円 農業体験プログラム参加者 100人

指標名	グリーンツーリズム体験プログラム参加人数				
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標			100	100
	実績	106	68	33	
指標選定の理由	農業と観光が連携することで、体験交流型農業の推進を図る。				
最終年度目標の根拠	106人（H28）の参加者を目標に維持をしていく。				
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		7,116	6,485
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	2,510	0
	地方債	0	0
	その他	154	120
一般財源		4,452	6,365
人員数(人)	正規職員	1.3	1.2
	嘱託職員	1.0	0.6
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	9,295.0	8,580.0
	嘱託職員	2,875.0	1,725.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	12,170.0	10,305.0
市民一人当たりの経費		0.4	0.3
総額		19,286.0	16,790.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	354	講師謝礼150、謝礼204
11節 需用費	721	消耗品263、印刷製本費458
13節 委託費	108	動画制作委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,469	農業創生活動補助金(伝統野菜3団体)300 園芸産地育成振興対策事業補助金1,500 ほか
その他	3,464	役務費、備品購入費ほか

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	6	謝礼6
11節 需用費	454	消耗品費84、食糧費10、印刷製本費360
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,840	園芸産地育成振興対策補助金1,500 新農業創生活動補助金400 ほか
その他	3,185	旅費392、役務費75 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	伝統野菜生産団体の維持や振興果樹の拡大により産地のブランド化が図れる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	県元気づくり支援金活用事業（農泊の推進）については、旅館業法における簡易宿泊所の営業許可を受けるなど、農家の受入れ体制の強化に向け一歩ずつ進んでいる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	県元気づくり支援金の活用やパンフレットに広告枠を導入するなど財源確保に務めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
農業体験や交流事業など、大規模な学校や団体の受入れが整っていない。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
ブランド力発信のために有効		地産地消、産地ブランド化に有効な事業である。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	